学校番号	3028

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立　共生　創造　（東京書籍）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　デジタル＋　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科は自分を大切にする力（自立）、他者と共に生きる力（共生）を互いに育てあう教科である。これから社会生活を送る上で必要な知識技術を、自ら生活する者の立場で学び、自分らしい生活を創造していく力を身につけよう。

・自分の人生や生活上の課題を、ワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけると共に、考察をまとめ、発信できるようにしよう。また、他者の考察を知り、多様な考え方を学び、尊重すると共に、自分の考えを深めよう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけ、周囲の人を助け、リーダーとなることができる能力を育てる。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざそう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
学習した知識や技術を活かし、家庭や地域の生活課題の解決策を構想し考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯を見通して課題を解決する力を身につけ、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るため主体的に実践しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 4 5 6月	生涯を見通す	○家庭科の学び方 ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 ○今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	a:自分自身について考えるワークシートやレポートを通して、自分や人の一生についての考えをまとめることができる。 b:人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について、考えを深め、表現することができる。 c:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	ワークシート レポート	ワークシート レポート	ワークシート レポート
	人生をつくる	○固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き，家族関係をつくる必要性を学ぶ。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ○家族形態やライフスタイルの多様化が進んだ要因について、社会の変化と関わらせて考える。	a:家族形態の変遷や家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 社会や家族の変化を知り、自分らしく生きるために、目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。 b:自分を見つめ、自分の人生や進路について考えを深め、近年の社会状況から家族がどのように変化してきたかを知り、具体的にまとめ、発表している。 c:生涯発達の視点に立ち、青年期の課題について具体的に考え、現在の社会状況を知り、個人として、また家族や社会の一員として、今後自分がどう生きるかと関連させて考えようとしている。	発表 プリント ワークシート バズセッション	発表 プリント ワークシート バズセッション	発表 プリント ワークシート バズセッション

7 月 8 月	ホームプロジェクト	○日々の生活の中で改善すべきことを発見し、解決することを検討する。 ○具体的な解決方法を探り実際に改善する。	a:計画に沿ってホームプロジェクトを実践することができる。その実践に必要な知識を身につけている。 b: 生活上の課題を見出し、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 C:生活を通して主体的に取り組むことができる。	プリント 発表	プリント 発表	プリント 発表 自己評価
9 月 後 期 10 月	経済生活を営む	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ○消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。	a:生涯を見通した経済計画の重要性、家庭経済と国民経済のかかわり、家計の管理、消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。 ・環境問題に配慮したグリーンコンシューマーとなることが求められていることを理解し、家庭生活と資源・環境とのかかわりについて、自立した消費者になるための知識を身につけている。 b: 多発する消費者問題について、その原因と対策について具体的な事例をふまえて主体的に考え、適切に判断することができる。 ・消費行動と環境とのかかわりについて、自身の生活と関連させて課題を見いだし、生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を築けばよいかを考え、工夫している。 c:生涯を見通した経済計画、消費生活における課題、消費者の権利と責任、環境保全に対する取り組みについて関心をもち、自立した消費者として行動し、持続可能な社会に向けた消費行動をしようとしている。	プリント ワークシート 定期考査 プリント バズセッション 発表	プリント ワークシート 定期考査 プリント バズセッション 発表	プリント ワークシート プリント バズセッション 発表 自己評価

11月	子どもと共に育つ	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。 ○遊び、基本的生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 ○愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。 ＊地域や社会の取り組みを考える。 ○子どもの成長過程を意識し、親として課題解決に取り組む。	a:妊娠や出産に関わる知識を身に付けている。 生命の尊さ、子どもの心身の発達や生活と環境とのかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている b:子どもを取り巻く環境の変化と社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。 c: 母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心をもち、保育の重要性や社会の果たす役割、課題解決に向けて考えようとしている。	プリント バズセッション 発表 ロールプレイ	プリント バズセッション 発表 ロールプレイ	プリント バズセッション 自己評価 発表 ロールプレイ
12月	高齢社会を生きる	○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	a:高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活、支援する場合の心構えについて理解している。 b:高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、まとめたり、発表したりできる。 c:高齢者の心身の特徴や生活などについて関心をもち、自分とつながった存在である高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。	プリント ワークシート バズセッション 発表	プリント ワークシート バズセッション 発表	プリント ワークシート バズセッション 発表 自己評価

1 月	共に生き、共に支える	○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	a: 共生社会の実現に向けて、自分のできることは何か、情報を収集・整理し、実践にいかすなど，支え合う活動に必要な技術を身につけている。 b: 社会制度の理念と内容やボランティアのあり方について考えを深め、社会の一員として、共生社会を実現するために何ができるか考え、工夫している。 c:共生社会に関心を持つとともに、社会の一員としての自覚をもち、ボランティア活動など主体的に行動しようとしている	ワークシート バズセッション 発表	ワークシート バズセッション 発表	ワークシート バズセッション 発表 自己評価
2 3 月	住生活をつくる	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を得て、間取りが理解できる。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○住まいのデザインを考える。 ○住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。	a: 情報を収集・整理し、よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取り、家族構成やライフステージ、生活価値観に応じた住空間の計画ができ、検討することができる。 b:ライフスタイルや価値観に応じた、生命と健康を守るための暮らしのあり方について考え、工夫している。 c:住居の機能、住空間の計画、安全で快適な住まい方、住環境などについて関心をもち、よりよい住生活について考えようとしている。	プリント ワークシート バズセッション 発表 定期考査	プリント ワークシート バズセッション 発表 定期考査	プリント ワークシート バズセッション 発表 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度